

8 月 30 日（水）に第 4 回国際交流講演会「留学中の先輩の話を聞く」が開催された。講師は台湾の元智大學情報管理学部 2 年生の菅原そよかさん（74 回生）、チェコ共和国のカレル大学第一医学部 5 年生の藪あゆいさん（70 回生）、英国の London School of Economics and Political Science 地理・環境学部、地域・都市計画専攻 大学院修士課程 1 年の佐藤春乃さん（70 回生）の 3 名。参加者は 1 年生 13 名、2 年生 45 名、3 年生 7 名の計 65 名であった。

## 概要

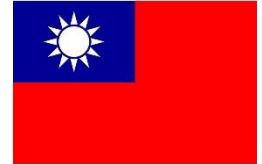
### ○ “Taiwan Life” 菅原そよかさん

菅原さんは現在、台湾の元智大學情報管理学部に留学しており、台湾での生活や入学するまでの様子をお話し頂いた。入試がなく書類のみで行われるという外国の受験のスタイルや日本の高校に近いという学校生活、台湾でのマナーなど普段あまり触れる機会がない貴重なお話を聞くことができ、12 月に控える S S H 台湾海外研修に向けて胸が高鳴った。台湾についてさらに理解を深めたいと感じるとても有意義な時間となった。

#### 【質疑応答】

・文系理系はどう分かれているのか？

台湾の旗→



→元智大學では学部による文理の縛りが無い。（菅原さんは高校在学中文系を選択していた。）

・台湾の大学に進学した日本人はどこに就職する人が多いか？

→日本に戻ってくる人が多い印象だが、現地でのインターンシップをきっかけにそのまま台湾で就職する人もいます。

・入学するまでに中国語はどのくらい話せる状態だったか？

→基本的な日常会話程度だった。中国語でディスカッションをする練習もしていた。



### ○ “Is medicine right for me?” 藪あゆいさん

藪さんは、仙台一高の高校 3 年時にアメリカに 1 年間交換留学をした。その後、仙台一高の 3 学年に戻り、仙台一高を卒業して、チェコ共和国の国立カレル大学第一医学部に進学された。しかし、もともと医学には興味がなく、「理系科目が好きだから」選んだため、“Is medicine right for me? (医学は自分に合っているか)”と自問自答し、医学の道が本当に自分に合っているかを考えたそうだ。また、現在医学を志望する高校生にも、同じように、多くの情報を収集した上で選択をすることを勧めている。藪さんはチェコ共和国での生活を通じて医学が合っていると感じているそうだ。私たちも大学選択などの場面で「この分野は自分に合っている」と言い切れるような決断ができるようにしていきたい。

#### 【質疑応答】

・解剖との向き合い方は？

チェコ共和国の旗→



カレル大学→



→対象を「人間」として捉えると辛くなってしまうこともあるので、「臓器」や「学問」として考える。

・「この進路は自分に合っているか」という問いに YES と言えなかったらその後どうすべき？

→辛いと感じるならやめてもいい。合わないと感じたのなら無理に続ける必要はない。

・留学を決断した際の最終的な決め手は？

→学校に貼ってあった交換留学についてのポスターがずっと心に残っていたこと。ここまで考え続けているならやらなければ後悔する、と思った。



## ○「場所にとらわれず、やりたいことを」佐藤春乃さん

佐藤さんは本校 70 回生で、高校卒業後は国際教養大学に進学した。現在は英国 London School of Economics and Political Science 地理・環境学部、地域・都市計画専攻、大学院修士課程 1 年に在籍している。佐藤さんの経験だけでなく、交換留学制度や留学するにあたってやっておくべきこと、また、国際教養大学の特徴などをお話ししていただいた。



LSE のメインの建物↑

### 【質疑応答】

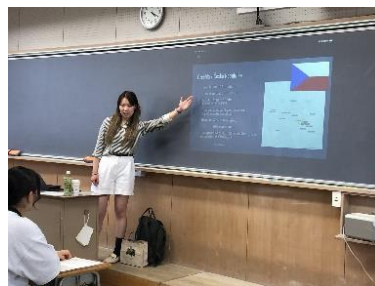
・イギリスでは、日本人差別はあるか？

→実際そんなにないので、心配なくて大丈夫である。

・大学受験に向けた英語のリスニング対策としてどのようなことをしたか？

→BBCのニュースをよく聞いた。世界の状況も把握できるため、小論文対策にも役立った。

## ○講演の様子



## ○参加者の感想

自分が本当に学びたいことを学ぶためには国境を超えることも大切なのだと気づいた。日本国内という範囲に縛られるよりも世界に視点を移した方が、日本では学べないことを学べたり、これからの日本に貢献できるようなことを得られるのかなと思った。また留学するためには様々な書類を出したり、申請したりしなければならないので、早いうちから情報を集めることや 締め切りなどを気にすることがとても大切だと思った。国によって同じ学問でも捉え方などが違ってくるので自分に一番あったものを探すことも大切だと思った。

知りたいことを知るために留学されているのが、かっこいいと思いました。私は海外に行ったことがありませんが春乃さんのお話を聞いて、インターナショナルな空間に身をおいて、学んでみたいなと思いました。海外に行ったら外国の方とばかり交流するイメージでしたが、同じように留学している日本人とも交流する機会があると聞いてとても面白そうだと思いました。国内だけではなく世界を見て視野を広げていこうと思いました。

### ～編集後記～

今回の講演を聞いて、国境に囚われないことの大切さと魅力を感じました。実際に国際的に活躍されている方の生の話はとても新鮮で、視野が広がったと思います。これから先、海外と関わるのが当たり前の時代になっていくと思うので、さらに広い視点と理解しようとする意識を意識していきたいです。